

Introduction

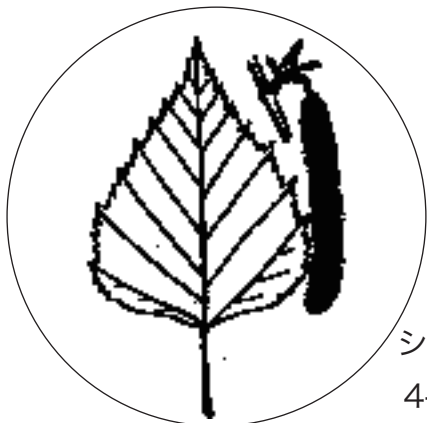
移り変わりの早い志木の春

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。

在校生を含めて多くの諸君が、(本意かどうかは別として…)本校の志望理由に『豊かな自然』を挙げた以上、本校の自然をより多く知っていただくのは一つ義務のようにも思います(一年前の号にも同じような事を書いています)。

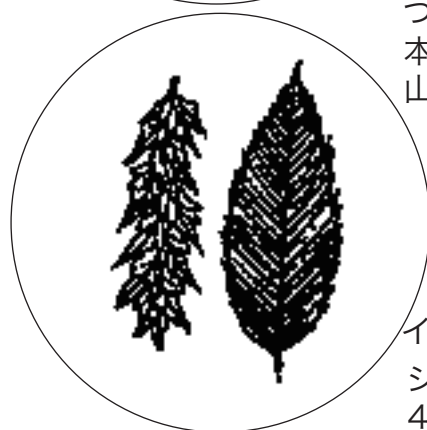
今の志木高は、花の移り変わりの大変目まぐるしい季節です。先週咲いていた花が今はない、ということがごく普通に起こります。

『花』というと多くの人がカラフルなイメージをもたれますが、この時期に咲く花の中には、枝先についているゴミのように見える地味な花がかなりあります。スギ、ヒノキ、シラカンバ、イヌシデ、クヌギ等々は花が(いずれも花粉生産だけを担っている♂花です)誰に知られる事もなく花の寿命を終えていきます。ぜひ、木々の枝先に注意を向けてみてください。新たな発見があるはずです。



シラカンバ

4-5月に果穂をつける。北海道、本州中部以北の山地帯の陽地に生育。



イヌシデ

シラカンバと同じく4-5月に果穂をつける。



防火用水池周辺での携帯電話使用禁止

科学的な裏づけがとれた訳ではありませんが、携帯電話の発する電磁波が野生動物に影響を与える可能性が示唆されています。

本校では、1992年以降カルガモの繁殖が観察されてきましたが、昨年、一昨年と失敗に終わっています。このままでは現在の三年生はカルガモの巣立ちを見る事なく卒業する事になります。

因果関係が不明瞭とはいえ、無視する事もできないので、カルガモ飛来後、防火用水周辺での携帯電話の使用は禁止しますので、御理解と御協力をお願い致します。

(Miyahashi)

志木の自然[睦月(1月)～卯月(4月)]

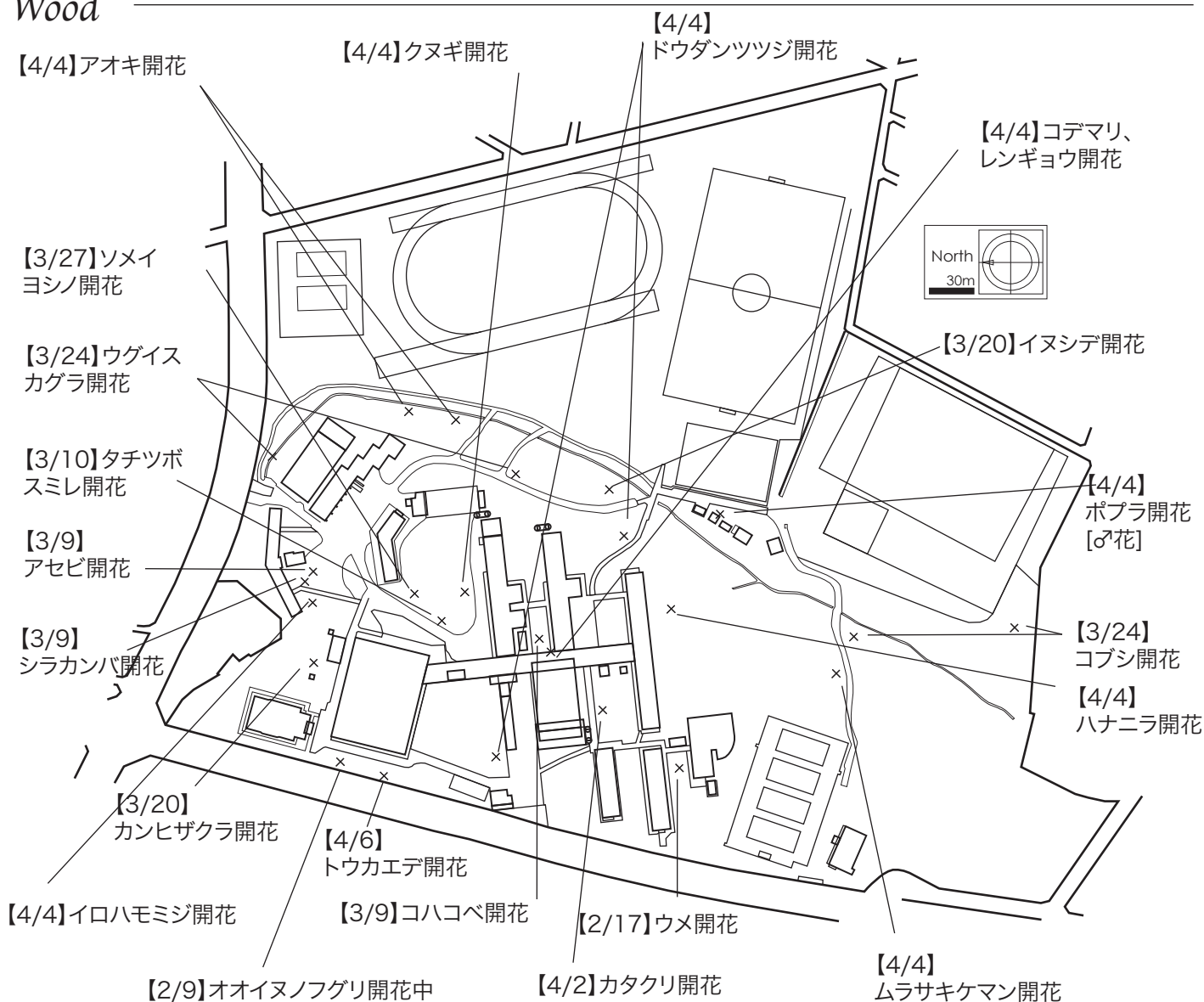
Plants [2003年1月～3月までの記録とこれからの見通し]

1～2月中は、校内の自然に大きな変化は見られないが、3月に入ると急に春めいてくる。3月中旬あたりから、草本類(所謂雑草)の開花が始まり、オオイヌノフグリ、ホトケノザ、スズメノエンドウ、カントウタンポポ、タネツケバナ、タチツボスミレ、ヒメオドリコソウ、コハコベ、ハルノゲシ、ナズナ等が一斉に花を開く。また、この時期は多くの樹木の開花期にあたるが、花そのものが目立たないものがあり、気づかれずにその寿命を終えるものも多い。

Grass

9th Feb. 2003	オオイヌノフグリ、タネツケバナ、コハコベ開花
10th Mar. 2003	タチツボスミレ開花
24th Mar. 2003	ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、スズメノエンドウ、ナズナ、オオジシバリ開花
4th Apr. 2003	ハナニラ、ムラサキケマン、カタクリ、ハナダイコン開花

Wood



(Miyahashi)

この限られた紙面では、どのような植物、動物かをすべてお示しする事は不可能です。名前を手がかりにぜひ図書館で一度調べてみてください。

2003年1月から2003年4月までの野鳥来訪観察記録

2003年1月から4月にかけて、13-15時の時間帯に志木高で観察された鳥は次の通りです。
()内は確認できた個体数を表します。

5th Jan. 2003	シジュウカラ(6)、ヒヨドリ(10+)、メジロ、キジバト(5+)、スズメ(30+)、ムクドリ(20+)
9th Feb. 2003	ムクドリ(20+)、ホオジロ(2)、オナガ(1)、アオジ(2)、キジバト(6+)、ハシブトガラス(2)、ドバト(2)、シジュウカラ(3)、ヒヨドリ(2+)、スズメ(30+)
9th Mar. 2003	シジュウカラ(10+)、スズメ(20+)、ツグミ、キジバト(3)
24th Mar. 2003	ツバメ【初認=今年初めての確認】、シジュウカラ(3)、ヒヨドリ(5)、メジロ(10)、キジバト(1)、スズメ(5)、ムクドリ(15+)
4th Apr. 2003	ヒヨドリ、キジバト(10)、ツグミ、シジュウカラ、カワラヒワ、スズメ(20)、ムクドリ(20)

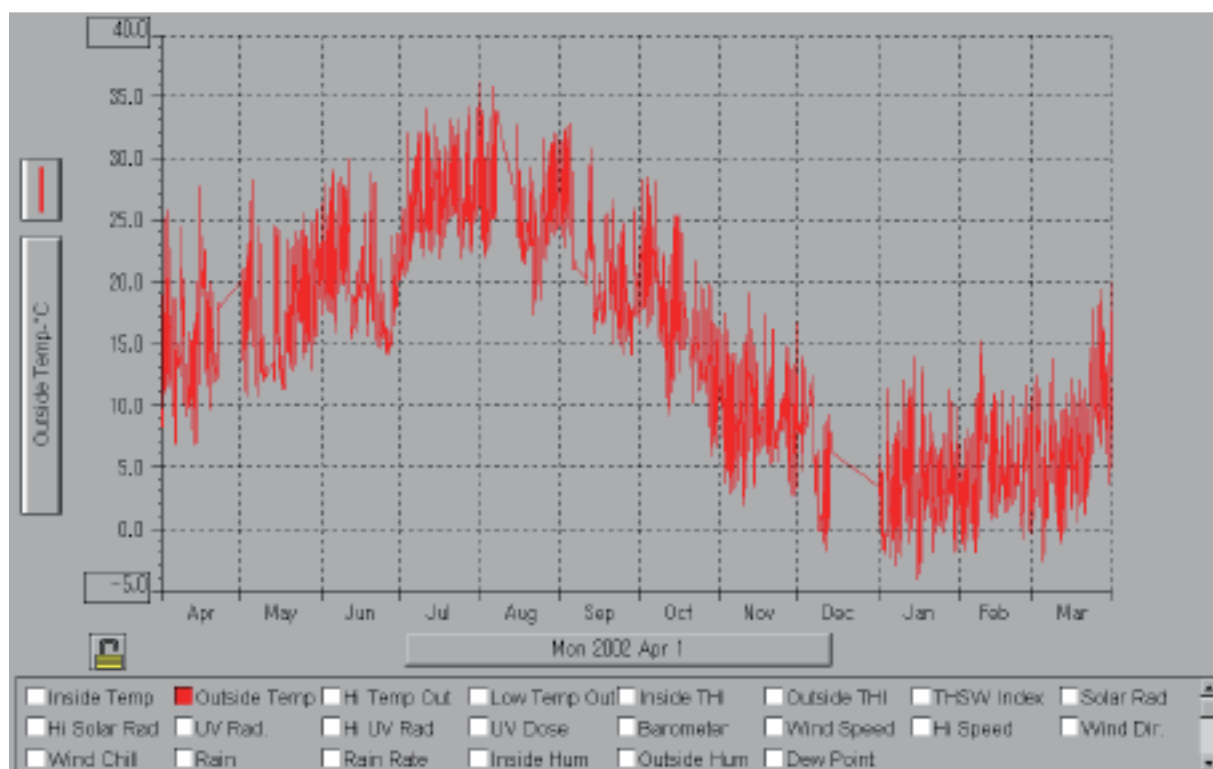
(Hayami/Miyahashi)

Meteorology

志木高構内の気温変化

1999年より校内で10分ごとの気象観測を行っています(もちろん自動化されている)。観測している気象要素は、気温をはじめ気圧、風向・風速、降水量(雪を除く)、湿度、太陽放射、紫外線等です。これは2002年度(2002年4月1日～2003年3月31日、一部欠測日あり)一年間の気温変化をグラフにしたものです。

夏は最高気温が35℃を超える日が数日(8月は欠測の期間があるのでもっと多いかもしれない)、冬は最低気温が氷点下の日が多く、志木は東京よりも気温の年変化や日変化が大きいことがわかります。これは志木が海から遠い分、やや内陸性の気候を示していると考えられそうです。



(Higuchi)

四季折々(四〇六月の俳句)

アカシヤの花のゆらゆらひと眠り

惇司

四月、五月、六月の季題には、次のようなものがあります。作句の御参考に。

四月

梨の花、杏の花、李の花
林檎の花、山桜桃の花、辛夷、…

五月

牡丹、菖蒲、筍、都草、踊子草、
羊蹄の花、卯の花、…

六月

杜若、蜜柑の花、柿の花、栗の花、
紫陽花、瓜の花、…

…ところで、読めます？

鈴蘭は生徒のごとく集まりて

哲也

えごの花咲き騒ぐ日の待ち遠し

浩介

これらの句は、本校の生徒諸君が創作したものです。

五月の季題であるアカシヤは、マメ科の落葉高木で正式名称はハリエンジュです。音楽棟の東側に並木をつくっている他、理科棟と体育館の間の坂道横にもあり、五月から六月にかけて藤に似た白い花を咲かせます。

同じく五月の季題である鈴蘭は、「蘭」の字をあてますが、ランではなくユリ科の多年草です。

エゴの花は五月から六月に校内各所で下向きに数多くの花を咲かせるエゴノキ科の落葉高木で、六月の季題です。

執筆・担当区分	俳句	本井 英 (Motoi)
	天文・気象	樋口 聡 (Higuchi)
	鳥類・植物	速水 淳子 (Hayami)
	植物・小動物[&発行責任]	宮橋 裕司 (Miyahashi)